

平成27年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	○山形大学、山形県立米沢栄養大学、 鶴岡工業高等専門学校	主たる交流先	中南米諸国
事 業 名	「山形・アンデス諸国」ダブル・トライアングル・プログラム		

〔評価コメント〕

本事業計画は、資源開発や社会開発の手法に習熟し、文化・価値・歴史などの多様性を的確に理解して、環境保全・産業開発・人間の安全保障のバランスをとれる視点・技能等を有するとともに、語学力と実行力を備えた人材を育成することを目指すものである。これまでの交流実績のもと、地域開発に向けて山形県内の2大学・1高等専門学校と中南米3カ国をダブルトライアングルという発想で結びつけ、このネットワークを利用して人材育成を行うという点に創意工夫が認められる。中南米諸国への展開として戦略的に最適事業と考えられる天然資源、エネルギー資源とその開発という観点から交流を捉えている点にも特色がある。既にペルーとのナスカ研究、ボリビアとのリチウム資源開発などの実績があることから、留学生の受入、就職、日本人学生の派遣などについても枠組みが存在し、今後の事業の実現性が期待できるほか、日本側3校で顔の見える交流基盤が出来ていることは評価できる。

また、各大学のアカデミックカレンダーとの整合性に留意しており、外国人学生に対する日本及び中南米諸国での日本語科目も充実させる計画となっている。

一方で、日本人学生の中南米3カ国への研修は、短期間であっても多様性を知ることを通じて意義が大きいものとなりうるが、教育の質の保証を担保するためにも、その大きな学びが効果を上げるための具体的な進め方や、組織的構成、人的配置などについて更なる検討が望まれる。

最後に、今回「大学の世界展開力強化事業」に採択された貴学におかれては、将来の日本と中南米諸国との関係を見据え、中南米諸国との間の架け橋となるリーダー人材の育成に中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。